

## (報告) 神戸ワイン事業の継承について

### 1. 経緯

神戸ワイン事業は、昭和50年代に国営東播用水開発事業により開拓した果樹団地を活用して、市と地元農家と一般財団法人神戸農政公社（以下、「公社」という。）が、一体となって約40年間にわたり取り組んできた事業です。

公社は、この間、神戸産ぶどう100%の地産地消ワインとして「神戸ワイン」を製造・販売に取り組んできましたが、近年、民間活力の導入も含めて事業パートナーを模索していたところ、令和6年2月に白鶴酒造株式会社と神戸ワイン事業継承について基本合意に達し、協議を進めることとなりました。

なお、公社としては、農事組合法人が生産しているワイン用ぶどうの生産振興及び買入については継続し、市域の農業振興に寄与していきます。

### 2. 今後の予定

令和6年度	公社によるワイン醸造
令和6年秋	事業継承契約締結
令和6年12月	事業継承
	白鶴酒造株式会社によるワイン販売開始
令和7年度	白鶴酒造株式会社によるワイン醸造開始